

2015. 2. 11 市民講演会 **参加者の声** (アンケートから一部抜粋)

・香川大学の技術による府中湖における重金属の除去の取り組みは、大変参考になりました。また、将来における水問題への対応に期待の持てる技術だと思います。(40代男性)

・バングラデシュのカーン博士の水問題の現状の課題を聞き驚きました。今の時代においても大きな上下水道の問題点があること、及び多国間を流れる大きな河の管理の問題などの現状が理解できました。(50代女性)

・独立行政法人国際協力機構(JICA)の開発途上国における水問題への取り組みは、将来的に大きな希望を抱かせるものだと感じた。ただ、上下水道施設などについては、施設完成後も継続的な運営管理技術などの技術支援が必要だと感じます。(30代男性)

・香川の特徴を生かした「ため池維持管理技術」などを香川県農政水産部が中心となって、海外の研修員に紹介している事実を初めて知りました。特に、発展途上の国々の人々にとって効果の高い研修になっていると感じました。今後も香川らしい国際協力として、実施していくべき水問題対応への具体的な姿だと感じました。(50代女性)

・オイスカが実施していた海外協力が、香川県の道徳の教科書に掲載されている事実は知らなかった。地元のNGOが遠く海外で実施している協力を知らなかったのは、恥ずべきことであり、地元メディアもしっかり地元の団体の活躍を報道してもらいたい。(50代男性)

・三豊の現地企業(株式会社イナダ)が、フィリピンにおいて水の協力をしていることを新聞で知りました。それもJICAの制度を活用して、積極的に水の技術協力を実施していることに郷土の誇りと感じました。(40代男性)

・香川大学が、香川の昔からの知見である水不足への対応という地域の水問題から、世界の水問題に目を広げ、地球的課題に対して、地元の足場を見ながら、水問題をテーマに全学的に取り組んでいる姿は、これからの地方の大学のモデルケースになると考えられる。(60代男性)

・3日間の国際シンポジウムの中日に、日本語による市民講演会を開催していただき、感謝したい。バングラデシュのカーン博士が名古屋大学で博士号を取得された方で、日本語の講演だったので、とてもよくわかりました。休日にもかかわらず、席が満席で関心の高さに驚きました。(20代女性)

参考

S.I.カーン博士の社会環境学教育カリキュラム
の構築プログラム資料

講演会案内チラシ

編集者リスト